

2021年度 第2回微生物検査・感染症委員会 議事録

日時：2021年10月9日（土） 14：30～15：30

場所：511-512号室 ウェブ併催

参加者：柳原 克紀、長尾 美紀、豊川 真弘、中村 竜也、平本 卓、静野 健一、河村 佳江、森下 奨太、村上 忍、相原 正宗、木村 由美子、大前 喜央、横山 僚、宍戸 迅人、瀬野 誠、松田 宇翔、上田 修、杉山 雅英、曾家 義博、波多 宏幸、後藤 裕一
欠席者：渡 智久、佐々木 雅一、石塚 昌弘、高橋 聡

1. 第53回微生物検査・感染症技術セミナーの総括

講演：

村井先生（札幌医科大学）、宮地先生（東海大学）による講演であった。90分の枠で行われ、質疑応答の時間を長くとることができたため、活発なディスカッションが行われた。現場の検査技師や企業の方にも役立つ内容であり、好評であった。

技術セミナー：

4社（日本BD、ベックマンコールター株式会社、東洋紡株式会社、栄研化学株式会社）で実施した。約半分が医療関係者で、27名の参加があり、アンケート回収は10件であった。次回希望内容に抗原検査等のPOCT法を望む声もみられたが、POCセミナーの開催もあるため、本委員会で抗原検査等はテーマとしないこととなった。

2. 次年度の技術セミナーについて

過去の実施内容を確認し、次期テーマについて意見交換が行われた。

- ・委員会に属しているメーカーの方々のプロモーションにも役立つ場でもある。
- ・各企業から、微生物検査のオートメーションに寄与する技術の逆提案を受けてはどうか。
- ・自動化のみではなく、迅速化・標準化・効率化というキーワードをいれるのはどうか。
- ・コロナ禍で導入した遺伝子検査機器をどう活用していくか。
- ・薬剤耐性菌は重要なテーマであり、次年度はAMRをメインテーマとするのはどうか。

これらの意見を踏まえた対面且つ、実機を直接みることが出来る形式のセミナーを検討する。

3. その他

- ・次回の春期大会の委員会までにアンケート、議事録をメールで配布することとなった。

以上